

災害ケア論

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 三浦 まゆみ 教授		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座、救急・災害・総合医学講座災害医学分野		
対象学年	1	区分・時間数	講義 12時間
期間	前期		
単位数	1単位		

・学習方針（講義概要等）

2011年3月11日、東日本大震災は岩手県沿岸全域で津波災害をもたらし、内陸部は被災地支援を展開するなど県民全体が災害を自分のこととして意識するような出来事となった。今現在も多くの方が震災の影響で悩み苦しんでいる。これまでも大きな災害が、そしてこれからも災害が頻繁に生じるであろう状況下にあつて、被災を受けることは生活に心身にどのような影響を与えるのか、看護職者としてどのような災害支援ができるのか、その基礎を学ぶ。最後に自分たちで関心のある災害事例についてまとめ、何が明らかになったか、共有する場を持つ。

・教育成果（アウトカム）

災害の歴史、定義、種類、関連する制度について、さらに災害看護の歴史を学ぶことにより、災害看護を学ぶ意味を説明することができる。また災害サイクル各期の特徴と健康問題、災害が人々の健康に及ぼす影響、災害時に看護が果たす役割について、概略を述べるることができる。学年進行に伴って専門の看護学を学ぶ中で、災害看護という視点で自ら考えようとする素養を培う。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：2, 3, 6

・到達目標（SBO）

1. 災害が健康・生活に与える影響について説明できる
2. 災害の種類や災害サイクルについて理解できる。
2. 災害サイクルとそれぞれの特徴それに関わる健康問題とはどのようなものか、それに医療・看護がどのような役割を果たせるのかを概説できる。
3. 災害時の医療救護活動の基本である CSCATTT について理解できる。
4. 要配慮者、避難行動要支援者への看護について理解できる。
5. 被災者、救護者のストレスについて理解できる。

・ 授業日程

(矢) 東 2-A 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
4/19	木	4	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授	<p>災害発生に備えた心構え、災害とは、災害の定義、災害看護の特徴について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害発生に備えた心構えをもつことができる ・ 災害の定義、地域防災および災害看護の特徴について述べるができる
4/26	木	4	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授	<p>災害看護の歴史、災害から教訓を得、次に生かす</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 阪神淡路大震災、地下鉄サリン事件から災害医療看護がどのように発展していったのかを述べるができる
5/10	木	4	救急・災害・総合医学講座 災害医学分野	眞瀬 智彦 教授	<p>災害医療とは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害医療のポイントをあげることができる
5/17	木	4	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授	<p>災害サイクルから見た看護-主に急性期、医療救護所における看護、災害支援ナースの活躍について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 急性期における看護のポイントについてあげることができる ・ 実際カードで体験したスタートトリアージについてポイントを述べることができる
5/24	木	4	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授	<p>災害サイクルから見た看護-主に避難所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 避難所での看護のポイントをあげることができる ・ 災害時要援護者への配慮について述べることができる
5/31	木	4	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授	<p>災害サイクルから見た看護-中・長期仮設住宅・地域のケア、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仮設住宅および被災地域における看護のポイントをあげることができる

6/21	木	4	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授	災害看護活動の体験者の手記から学んだことをグループでまとめよう ・小グループに分かれ何を学んだのか学びを共有し、災害のイメージが広がる広げることができる
7/5	木	4	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授	グループ発表とまとめ ・自他のグループ発表からの学びをそのグループ発表の特徴に応じてまとめることができる

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	系統看護学講座 専門分野 I 看護学概論 第 16 版	茂野香おる他	医学書院	2017

・成績評価方法

筆記試験 85 点、グループワークのまとめ、レポート 15 点の合計 100 点とする。

・特記事項・その他

【事前学修内容及び事前学修時間】
授業では前回の学びの確認を行いながらすすめていく。またグループワークを行うが、それぞれテーマにそって、事前学修をしてグループワークに臨むこと。講義においては、資料・レジメ等を用いての事前学修の時間は最低 30 分を要する。グループワークを行う授業では事前学修の時間は最低 1 時間を要する。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】
グループワークのまとめ・レポートは、事前に学生に配布する評価表に基づき評価する。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】
看護師（別表 3）：統合分野 看護の統合と実践

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター (VPL-FHZ55)	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ (P-100)	1	講義用資料投影